

— 五年 光村図書教科書と同じ順序 基礎学力定着会 編集

《上卷》

新しい友達 7ページ

勢 13 一 十 土 尸 夫 走 奉 参 劼 執 執 勢 勢

火の勢いが強い。筆の勢い／台風の勢力 大勢（おお

ぜいの観客 戦いの大勢(たいせい)が決まる。 悪い運勢

こちらの形勢が悪い。五万の軍勢

[illegible]

絶対に負けない。絶対反対 絶体絶命のピンチ(「絶体絶

命しんめいのときだけ絶せつ「体ていを使う」
親友しんゆうと絶交せつこうする。
人生じんせいに絶望せつぼうす

る。 気絶する。 天下の絶景(すばらしい景色) 音信が中絶

する(音信：便り)。三日間の絶食／息が絶える。人通

りが絶える。絶え間ない努力 悪の芽を絶やす。病室

に花を絶やささない。消息を絶つ。

限
9
7
3
β
β
β
β
β
β
β

先着順で百名に限る。試合に勝つとは限らない。可能

張 11
コ
弓
引
引
引
引
引
引
張
張
張

大木が根を張る。氷が張る。意地を張る。弓張り月

張りのある声／自分の考えを主張する。海外出張

道路の（拡）張工事

授 11
一 十 打 打 打 打 打 授 授

午後ごごの授業じゅぎょう 大学だいがくの教授きょうじょう 授賞式じゅしょうしきに出席しゅつせきする。名人めいじん芸げい

を弟子に伝授する。

現
11
一
丁
王
玨
玨
玨
玨
玨
玨

正体を現す。頭角を現す。タマちゃんが現れる。お化

けが現れる。／歌で表現する。天才の出現 五千元

の現金 現実問題として： 現住所 現代的な絵画

現世と来世（現世：「げんせい」とも読む）

情ゆうじょう
11
ふか
ハ
ナ
ナ
ナ
ナ
情
情
情
情

友情を深める。 両親の愛情 明るい表情 人情細やか

永
5
、
丁
才
永
永

久
3
ク
久

混

＊ 交じる…分けることができるような交じり方

＊混じる…分けることができないような混じり方

雜

飼 13
ノ
人
今
今
今
今
食
食
飼
飼
飼
飼
飼

「読む」ということ 24・25 ページ

[illegible]

人の銅像

修
10
ノ
イ
イ
イ
イ
イ
イ
イ
イ
イ

[illegible]

19 パソコンの知識 意識を失う。 常識に反する言動 良
、ニキミ ちしき いしき うしな じょう はん げんどう
識ある行動 高い見識のある人 記号で識別する。

ゲン 不思議な現象 理想が実現する。歌で表現する。
 てんさい しゆつ 天才の出現 五千円の現金 現実問題として……

ゲン 不思議な現象 理想が実現する。歌で表現する。
 てんさい しゅつ 天才の出現 五千元の現金 現実問題として……
 じゅうしょ 現代絵画 現世と来世（現世：「げんせい」と

も読む

こんなこと、したいな
26・27ページ

興 16
一
イ
フ
フ
月
月
月
同
同
同
同
同
興
興
興
興(他の書き順あり)

漢字に興味を持つ。水遊びに興じる。送別会の余興

町を復興する。建物を再興する。試合に興(奮)する。

詩を味わおう

ふるさと
28
・
29
ページ

[illegible]

ふしぎ ゆめ
不思議な夢
ゆめ
夢のような話
はなし
はつ
初夢を見る。
み
まさ
正夢になる。

夢心地の気分／ゲームに夢中になる。悪夢のよう

な体験たいけん

海雀 30 ページ 新出漢字なし

ガラス窓の向こうで
31ページ
新出漢字なし

依頼の手紙、お礼の手紙 32ページ〜

件 6
イ
イ
イ
イ
件

殺人事件 例の件について話し合う。 急な用件 急を

よう
要する件
きゅうきゅうしや
救急車の出勤件数
しゅつどう
すう
じん
人件費
ひ
ふどうさんぶつ
不動産物件

三件の事故 有利な条件 格安物件

資 13
、
ソ
ソ
次
次
資
資
資
資
資

かいぎ しりよう
会議の資料
しきんぶそく
資金不足
ざいお ば
資材置き場
さんか
資産家
じぎよう
事業に

資本を投ずる。大学の学資(学費)を送る。事業に共同

しゅつ
しゅつ
こうきょうとう
きょういん
かく
ほうふ
ぶつ

出資する。
公共投資
教員の資格
豊富な物資

画家としての資質

状
7
一 十 才 扶 扶 扶

健康状態が悪い。病状が悪化する。現状を打開する。

学芸会の案内状 がくげいかい あんない
 一等の賞状 いっとう しょう
 告別式参列の礼状 こくべつしきさんれつ れい
 年 ねん

賀状が 状差さし 犯人はんにんが白状はくする。

容
10、
六六六
灾容容

あさ ようき い
浅い容器に入れる。
はなし ないよう
話の内容
びょうにん ようたい
病人の容体「ようたい」と

も読むが快方に向かう。かいほうむ
*「容体」は「容態」とも書く。

三リツトルの容量りよう
容積を計算する。せき けいさん
美容院び いん
理容室り しつ

容易な作業 有害物質の許容量

6
1 𠔁 𠔂 𠔃 𠔄 𠔅

形に注目、読み方に注目〔四年生の漢字〕
新出漢字なし

36・37ページ

謝 17、ニミミ言言言言言言言言言言言言言言言言
あいて かんしゃ なら こと げつしや めんかい せつ じゅうびようじん
相手に感謝する。 習い事の月謝 面会謝絶の重病人
い ひょう れい てがみ か おんかい ひら
謝意を表する。 謝礼の手紙を書く。 謝恩会を開く。
な あやま うんでん あやま
泣いて（謝）る。 《運転を（誤）る。》

備品 試験に備える。／ 機械の整備 予備の道具 工場の準備

際
14
フ
了
𠂔
𠂕
𠂖
𠂗
𠂘
𠂙
𠂚
𠂛
𠂜
𠂝
𠂞
𠂟
𠂠

／
（窓際）の席　水（際）作戦
まどぎわ　せき　みず　ぎわ　さくせん

国際問題　実際に役に立つ。際限のない話　男女交際
こくさいもんだい　じつさい　やく　た　げん　はなし　だんじょこう

[illegible]

返事を確たしかめる。確たしかな実力　／　確かくじつ実に進歩する。
正せい確かくな時計　成功を確信する。的てき確かく(「てつかく」とも読む)に
表現する。明めい確りゆうな理由　当選が確定する。名聲めいせいを確立りつ
する。文書で確約する。